

長らく厳しい残暑が続いていましたが、いつの間にか急速に秋の気配が濃くなってきました。各校では、運動会、学芸会、音楽会、移動教室などいろいろな行事が行われています。「楽しかった」「うまくいった」「頑張った」などの他、「大変だった」「ちょっと嫌だった」「つらかったけど、何とか乗り越えた」など、子供たちは一人一人様々な思いや感じ方をしていることでしょう。そのことを、私たち大人に話すこともあります。この一つ一つの思い、感じ方、全てを否定することなく聞いてあげてください。共感することが子供たちのコミュニケーションへの意欲や力を伸ばしていくこともあります。



「スピーチ」の時間

高四小エリア特別支援教室では、グループ学習「みんなの時間」のときに「スピーチ」の時間を設けています。子供たちが一人一人、自分が楽しかったこと、楽しみにしていること、はまっているもの、習い事のこと、気になっていることなど、自分のことについてみんなの前でお話をして発表するものです。

そのスピーチに対して、聞いている人たちから質問を受け、その受け答えをしていきます。

スピーチは、一般に「伝えたいことをわかりやすく組み立てて話す」ことが大きなねらいとなり、話し方のパターン「話型」を身に付けることも重要視されることがあります。高四小エリア特別支援教室では、このようなスキル的な学習への取り組みの他に、

自分のことを表現する → そのことに反応したり受け止めたりしてくれる人がいる

ことで、

コミュニケーションへの意欲や楽しさ **自分を受け入れてくれることでの自己肯定感の育ち**

ということをねらい、大切にしています。

子供は、失敗経験や叱られ経験があまりに多すぎると、コミュニケーションに対して消極的になったり、意欲を失ったりしやすくなります。だからこそ、子供たちにとって、自分が表現したことについて、「聞いてくれる人がいる」「受け入れられている」「認められる」経験を大切にすることで、コミュニケーションへの意欲を育てることができます。

子供たちから「誰かに伝えたい！」という気持ちを引き出しながら、子供たちのコミュニケーションへの指導や支援に取り組んでいます。



(裏面へ)

1 1月の学習予定

◎小集団学習「みんなの時間」

「ペットボトルキャップを使って活動しよう」

- ・手先を積極的に動かすことができる。
- ・注意力、集中力を身に付けることができる。
- ・友達と協力してルールを守って活動できる。

「ルールのあるカードゲームを通してコミュニケーションを深める」

- ・コミュニケーションを深めるためには決められたルールを守ることが大切なことを理解できる。
- ・相手の表情や動きを見て、その人の状況や感情を読み解き、自己の行動を調整できる。
- ・ルールのある活動に取り組むことで、友達との関わりを楽しむことができる。

「図形伝達」

- ・図形を正しく伝達し、相手に分かりやすく伝えることで、相手の視点に立つことができる。
- ・友達と上手に話し合いを行い、答えをまとめることができる。
- ・コミュニケーションを取りながら活動を楽しむことができる。

「頭の中で数字を操作しよう」

- ・前の人気が言った数字を記憶にとどめ、その後数を足したり引いたりして操作することができる。
- ・ルールを守って活動することができる。
- ・友達とコミュニケーションを取りながら、勝ち負けに固執しすぎず取り組める。

